



10件に総額3863万円交付

ふくしま産業応援ファンド

県産業振興センターは一日、ふくしま産業応援ファンド事業の今年度第一回の交付決定事業十件を発表した。交付総額は三千八百六十八万七千円。三十七

十三万二千円。

内訳は製造業集積活用型事業が四件三千四

万五千円、地域資源活用型事業が六件八百五

十八万七千円。三十七

件の応募があった。交付決定事業は累計で三十二件一億九百七十四万八千円となった。

交付先は次の通り(かっこ内は所在地と助成事業区分)。

▽製造業集積活用型事業
▽大越工業(須賀川・技術開発等) 日本アイキヤン白河工場(白河・同) シンテック(いわき・同) EYES, JAPAN(会津若松・同)
▽地域資源活用型事業
猪俣徳一商店(会津坂下・販路開拓) 光大産業(本宮・地域資源開発等、販路開拓) 高橋商店(相馬・販路開拓) 川仙食品(西郷・地域資源開発等) 増田屋(川俣・販路開拓)

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第37830号(日刊) 2009年(平成21年)10月2日(金曜日)

交付事業10件決定

県の産業応援ファンド

県が中小企業の経営革新や技術力強化の取り組みを支援する「ふくしま産業応援ファンド(基金)」の本年度第一回交付事業10件が決まった。管理運営団体の県産業振興センターが一日発表した。製造業集積活用型が4件で計3004万5千円、地域資源活用型が6件で計858万7千円。交付事業次の通り。

- ◇製造業集積活用型 ▽大越工業(須賀川市) ▽ネオジムリニアによる非鉄選別回収リサイクル装置の研究開発 ▽日本アイキヤン白河工場(白河市) ▽レールブレイキ装置の開発 ▽シンテック(いわき市) ▽医療用チタン製ワイヤーへの形状記憶加工の研究 ▽EYES, JAPAN(会津若松市) ▽拡張現実を利用したアプリケーション、3D表示システム開発
- ◇地域資源活用型 ▽猪俣徳一商店(会津坂下町) ▽生産履歴付き会津産特別栽培コシヒカリの販路開拓事業 ▽光大産業(本宮市) ▽県産FSC認証木材を使った木製品の開発・販路拡大 ▽高橋商店(相馬市) ▽相馬産乾燥ナマコの販路開拓事業 ▽川仙食品(西郷村) ▽「会津ユキマス」の冷凍技術による新たな素材活用、食品加工の開発 ▽増田屋(川俣町) ▽どんな豆を預かって加工して納豆にするサービスの販路開拓